

瀬戸メサイア合唱団演奏会

～古楽の響き～

バッハ、ヴィヴァルディ演奏会

B

ach

V

ivaldi

平成30年10月8日(月・祝) 14時開演(13時15分開場)
瀬戸市文化センター文化ホール

主催 瀬戸メサイア合唱団

後援：愛知県 瀬戸市 瀬戸市教育委員会 瀬戸市文化協会 中日新聞社

推薦：瀬戸市社会福祉協議会 尾張旭市

本演奏会は beyond2020 認証を
取得しています。



祝 辞

愛知県知事 大村 秀章



このたび、「瀬戸メサイア合唱団演奏会～古楽の響き～」が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

文化芸術は、私たちの生活に感動や精神的な安らぎをもたらし、明日への希望を与えてくれるものであり、とりわけ音楽は、奏でる人と聴く人の心を結びつける力があります。

瀬戸メサイア合唱団の皆様におかれましては、長年にわたり、合唱音楽の普及、発展に取り組み、着実にその愛好の輪を広げてこられました。このことは、本県の文化芸術の振興にとりましても誠に意義深く、心から敬意を表する次第であります。

本日出演の皆様におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮され、心に響きわたる素晴らしい歌声をご披露いただきますとともに、引き続き本県の文化芸術の振興に一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。最後に、本日のご盛会と瀬戸メサイア合唱団皆様の益々の御発展、並びに皆様の一層の御活躍、御健勝をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

ごあいさつ

瀬戸市長 伊藤 保徳



本日、ここ瀬戸市文化センターにおきまして、「瀬戸メサイア合唱団演奏会～古楽の響き～」が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

貴合唱団は、平成2年の創立以来、地域に根差した活動のみならず、国内外において積極的に演奏活動を行われており、団員の皆様の音楽に対するひたむきな情熱と、関係各位のご尽力に心から敬意を表します。また、本市を拠点とする貴合唱団がその活動を通して音楽文化を広く発信されることは、素晴らしいことであり、シティプロモーションに取り組むまちとして大変心強く感じております。

本演奏会で奏でられる古楽器による温もりのある美しい音色と、合唱団の清らかな歌声は、会場を訪れた皆様の心に残る素晴らしいものとなりますようご期待いたしますとともに、本市の芸術文化の振興・発展に一層のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。結びに、本日の演奏会の成功とみなさまの今後ますますのご活躍とご健勝を祈念し、ごあいさつといたします。

ごあいさつ



本日は「瀬戸メサイア合唱団演奏会～古楽の響き～」、バッハ、ヴィヴァルディ演奏会にお出で下さいます。有難うございます。

一昨年創立25周年記念メサイア全曲演奏会を開催いたしました。メサイアが作曲された当時の音の再現を目指し大変大きなご評価をいただくことができました。今回はメサイアの作曲家ヘンデルと同じ時代の作曲家、バッハとヴィヴァルディの音楽に挑戦することといたしました。前回と同様、古楽器による演奏に意欲的に取り組みましたのでどうぞお楽しみ下さい。また beyond2020 の認証事業としても演奏いたします。

これからも一歩ずつレベルを高める演奏を目指して努力し地域に貢献できる合唱団としてまいりますのでどうぞよろしくお願い致します。

今後とも皆様方のなご一層のご指導ご支援をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

瀬戸メサイア合唱団一同

 プログラム 

- I バッハ カンタータ 106 番 BWV 106
"Gottes Zeit ist die allerbeste Zeit" 『神の時は最良の時』

休憩

- II ヴィヴァルディ グローリア RV589
"Gloria"

休憩

- III バッハ カンタータ 140 番 BWV 140
"Wachet auf, ruft uns die Stimme" 『目覚めよと叫ぶ声あり』

演奏

指揮：大塚直哉

演奏：瀬戸ロイヤルバロックアンサンブル

コンサートマスター：桐山建志

合唱：瀬戸メサイア合唱団

合唱指導：高岡美千代 加藤久子

合唱練習ピアニスト：山田晶子

ソプラノ : 磯村美有紀 伊藤恵倫

アルト : 加藤久子

テノール : 大久保亮

バス : 能勢健司

プロフィール

大塚 直哉 指揮者



東京藝術大学楽理科を経て同大学大学院チェンバロ専攻修了、アムステルダム音楽院チェンバロ科及びオルガン科卒業。チェンバロを鈴木雅明、渡邊順生、小林道夫、B.v. アスペレン、オルガンを今井奈緒子、早島万紀子、J.v. オールトメルセン、廣野嗣雄の各氏に師事。アムステルダム郊外の聖ウルバヌス教会のオルガニストを務めたほか、ヨーロッパの各地で演奏活動を行なう。「アンサンブル コルディエ」「バッハ・コレギウム・ジャパン」などのアンサンブルにおける通奏低音奏者として、またチェンバロ、オルガン、クラヴィコードのソリストとして活躍。また、こうした古い時代の鍵盤楽器に初めて触れる人のためのワークショップを全国各地で行なうなど、後進の育成とバロック音楽の普及にも力を注いでおり、楽器製作家・山野辺暁彦氏と

ともに、クラヴィコード、チェンバロ、オルガンのワークショップ「音楽の隠れ家」を主宰。近年はさらに、CD やコンサートなど音楽事業の企画や指揮の分野にも取り組み、活動領域を広げている。チェンバロのソロ CD 「大塚直哉:トッカーレ [触れる]」(ALM RECORDS)、ヴァイオリンの桐山建志氏とのシリーズ CD 「J.S. バッハ: ヴァイオリンとチェンバロのための作品集」全 5 巻 (ALM RECORDS) のほか、多くの録音に参加。現在、東京藝術大学音楽学部准教授、国立音楽大学非常勤講師。宮崎県立芸術劇場、彩の国さいたま芸術劇場のオルガン事業アドバイザーを務める。「アンサンブル コルディエ」音楽監督。NHK・FM 「古楽の楽しみ」案内役として出演中。

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/utremi/>

桐山 建志 コンサートマスター



長野県出身。3 才より才能教育でヴァイオリンを始める。東京藝術大学を経て同大学院修了、フランクフルト音楽大学卒業。1988 年、第 3 回練馬区新人演奏会出演、優秀賞受賞。1990 年、NHK 洋楽オーディション合格、FM 新人デビューリサイタル出演。1992 年、第 2 回日本室内楽コンクール入選。1998 年第 12 回古楽コンクール〈山梨〉第 1 位、第 10 回栃木 [蔵の街] 音楽祭賞受賞。1999 年ブルージュ国際古楽コンクールソロ部門第 1 位。2005 年、古楽コンクール〈山梨〉の審査員を務める。これまでにヴァイオリンを鳥羽尋子、天満敦子、岡山潔、W. フォルヒェルト、バロックヴァイオリンを A. レーリヒ、M. ウティガー、室内楽を岡山潔、H. ブフベルガー、M. シュナイダーの各氏に、作曲を小山清茂氏に師事。2000 年秋にリリースしたデビュー CD 「シャコンヌ」は、レコード芸術誌特選盤となる。以後、多数の CD を主にコジマ録音よりリリース。シリーズ CD 「ヴァイオリン音楽の領域」 「J.S. バッハ: ヴァイオリンとチェンバロのための作品集 (全五集)」などでも高い評価を得る。2009 年、ベーレンライター社より星野宏美氏との共同校訂による「メンデルスゾーン: ヴァイオリン・ソナタ全集」の楽譜を出版。

現在、愛知県立芸術大学教授、フェリス女学院大学講師。「松本バッハ祝祭アンサンブル」コンサートマスター、「エルデーディ弦楽四重奏団」ヴィオラ奏者。チェンバロの大塚直哉氏と共にデュオ・ユニット「大江戸バロック」を主宰。2013 年リリースの CD 「コレリ: ヴァイオリン・ソナタ全曲」について『風格のあるメロディをおおらかに息ながく弓いっぱい歌わせてゆく』『凜とした格調たかいその姿勢』と評され、レコード芸術特選他好評を得る。また同年秋にはヒンデミット没後 50 年を記念した公演を企画、作品 11 を中心とした弦楽作品を一夜でヴァイオリンとヴィオラ、ヴィオラ・ダモーレを持ち替えて弾き切り、絶賛された。



磯村 美有紀 (ソプラノ)

愛知県立明和高校音楽科を経て、愛知県立芸術大学音楽学部卒業、同大学大学院修了。
大学院在籍時よりスウェーデン留学1年を含む5年間、当時の客員教授B・ノルドファルク氏の下で研鑽を積む。
ヘンデル「メサイヤ」、J.S. バッハ「口短調ミサ」「マニフィカート」や多数のカンタータのソリストを務めるほか、
近年ではピリオド楽器とのイギリス・アイルランド民謡や、ヘンデルのカンタータ、ドイツアリアなどの声楽作品
の演奏にも取り組んでいる。また、ソプラノ千田真梨子氏とのユニット、MeM(メモ)としても活動。
現在、ヘンデル協会指導者、Cantus Nagoya 主宰。
戸山俊樹、神田幸子、B・ノルドファルク、佐橋美起、河野克典、U・ハイルマン各氏に師事。



伊藤 恵倫 (ソプラノ)

名古屋音楽大学音楽学部声楽学科卒業、同大学院音楽研究科声楽専攻修了。声楽を河合玲子、故中島美鶴、藤本
保江の各氏に師事。大学院修了後短期でウィーンへ渡り、オルガ・ワルラ・コロ女史に師事、ドイツリートを中
心に研鑽を積む。大学オペラ「平安の恋」、大学院定期演奏会、宗次ランチタイムコンサートなどに出演。セイジ・
オザワ・松本フェスティバル「マーラー復活2番」にコーラスとして出演。ヘンデル「メサイア」等のソリス
トを務める。また、アルト加藤久子と Duo グループ「らうらあ♪らうるん」を結成し、2018年7月第1回公
演を瀬戸市にて好評開催。現在、JEUZIA カルチャーセンターボイストレーニング講師。
女声アンサンブル「アンサンブル・クノスペン」、「らうらあ♪らうるん」メンバー。



加藤 久子 (アルト)

兵庫県出身。武庫川女子大学音楽学部声楽学科卒業。山本照栄、根石弥生、大森地塩各氏に師事。
モーツァルト「レクイエム」、バッハ「ミサ曲口短調」、ヘンデル「メサイア」、東日本大震災被災者のための
レクイエム等ソリストとして多数出演。近年では瀬戸市内保育園でのミニコンサートやピアノライブのゲスト
演奏、ソプラノ伊藤恵倫とのユニット「らうらあ♪らうるん」としてのコンサートなど歌う喜びを身近に伝え
られるような演奏を目指して活動している。また昨年結成した女声アンサンブル「アンサンブル・クノスペン」
では兵庫県伊丹市での第一回演奏会で好評を得て、本年11月に長久手市文化の家での愛知公演が予定されて
いる。現在、瀬戸メサイア合唱団副指導者。女声アンサンブル「アンサンブル・クノスペン」メンバー。声楽
アンサンブル「La SINTONICA」メンバー。音楽ユニット「らうらあ♪らうるん」メンバー。



大久保 亮 (テノール)

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。同大学大学院首席修了。
バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」エヴァンゲリストをはじめ、ヘンデル「メサイア」バッハ「ミサ曲口短調」
「マニフィカート」「復活祭オラトリオ」ハイドン「天地創造」モーツァルト「レクイエム」「ミサ曲ハ短調」ペー
ヴェン「ミサ曲ハ長調」「交響曲第9番」オルフ「カルミナブラーナ」などにテノールソロで出演。
リサイタルも定期的に開催し、これまでにシューマン「詩人の恋」
シューベルト「美しい水車小屋の娘」「冬の旅」「白鳥の歌」を演奏している。
声楽を二宮咲子、近藤恵子、松下雅人、二神二郎、畑儀文の各氏に師事。



能勢 健司 (バス)

愛知県立芸術大学大学院修了後、ドイツ・マンハイムにて研鑽。新国立劇場オペラ研修所修了。
ひろしまルネサンスオペラ『イル・カンピエッロ』（佐藤正浩指揮、栗国淳演出）『魔笛』（岩田達宗演出、沼尻
竜典指揮）『ドン・ジョヴァンニ』等出演。また、外山雄三指揮『第九』、鈴木雅明指揮BCJ『マタイ受難曲』、
松尾葉子指揮『カルミナ・ブラーナ』、名フィル定期演奏会、円光寺雅彦指揮ニールセン『交響曲3番』、ドイツ・
ハレ大学管弦楽団と『戴冠ミサ』、クロアチアにて国交樹立20周年記念演奏会等のソリストをつとめる。
日本演奏連盟新人演奏会中日賞受賞。
現在、金城学院大学文学部音楽芸術学科准教授、名古屋市立菊里高校音楽科非常勤講師。

合唱指導



高岡 美千代

愛知県立芸術大学声楽科卒業。神田詩朗、中村浩子、E.セリグ・ウーヴェ・ハイルマン各氏に師事。移川澄也氏
に発声法を師事。宗教曲のアルトソロとして多くの合唱団と共演。名古屋二期会、市民オペラで「魔笛」侍女、
「ジャンニスキッキ」ツイータ、「リゴレット」マッダレーナ等出演。日本歌曲、フランス歌曲でリサイタル開
催。金城学院大学非常勤講師。野のゆりコーラス主宰。コンセル「C」(サー)会員。金城学院大学聖歌隊指揮者。
2015年より瀬戸メサイア合唱団を指導。



瀬戸ロイヤルバロックアンサンブル



廣田 雅史 ヴァイオリンⅠ

愛知県立芸術大学音楽学部を卒業後、同大学博士前期課程を修了。ヴァイオリンを岡山芳子、福本泰之、E. ダネル、D. ノーランの各氏に師事。古楽器演奏は学生時代に興味を持って始め、これまでに桐山建志、戸田薫、大津睦、赤津眞言、S. クイケン各氏から指導を受ける。



田中 安梨 ヴァイオリンⅠ

愛知県立芸術大学音楽学部卒業。同大学院前期課程修了。在学中、大学主催の「室内楽の楽しみ」、「室内楽の夕べ」などの演奏会に出演。2012年一宮市主催による弦楽四重奏新進芸術家サポートプログラムに参加。現在、愛知県を中心に後進の指導、演奏活動を行っている。



大西 律子 ヴァイオリンⅡ

国立音楽大学卒業。「カンタータ・ムジカ・Tokyo」「Millennium Bach Ensemble」「モーツァルト・アカデミー・トウキョウ (MAT)」のコンサートマスター、「国分寺チェンバーオーケストラ (KCO)」の弦楽器トレーナー、「オーケストラ・オン・ピリオド・トウキョウ (OPT)」のコンサートマスター兼指導者、国立音楽大学非常勤講師。



萩野 美和 ヴァイオリンⅡ

愛知県立明和高等学校音楽科、愛知県立芸術大学音楽学部卒業。近年古楽器に興味を持ちバロックヴァイオリン、古楽奏法を宇田川貞夫氏に師事。スペイン、ダロカにおける国際古楽アカデミーでフランソワ・フェルナンデス氏に師事。2006年名古屋市民芸術祭参加。



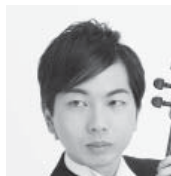
加藤 由佳 ヴァイオリンⅡ

三重県出身。4歳よりヴァイオリンを始める。愛知県立芸術大学音楽学部音楽科器楽専攻弦楽器コース卒業。同大学大学院修了。第17回みえ音楽コンクール弦楽部門大学生以上一般の部第1位。岡田文化財団賞受賞。これまでに廣瀬加奈子、野上阜三博、福本泰之、David Nolanの各氏に師事。現在、東海地方を中心に後進の指導、演奏活動を行っている。



深沢 美奈 ヴィオラ/ビオラ・ダ・ガンバ
東京藝術大学を経て同大学大学院修了。

モダンとバロックのオーケストラや室内楽奏者として活動中。これまでにモダンヴァイオリンを中馬敬子、浦川宜也の各氏に、モダンヴィオラを、河合訓子、菅沼準二の各氏に、バロックヴィオラを森田芳子、若松夏美の各氏に、ヴィオラ・ダ・ガンバを福沢宏氏に師事。バロックでは「バッハ・コレギウム・ジャパン」等に参加。



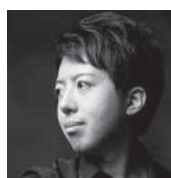
山内 佑太 ヴィオラ

愛知県立芸術大学音楽学部卒業。現在、同大学院博士前期課程1年在籍。大学選抜による室内楽の夕べ Vol.15、16、第49回卒業演奏会等に出演。第17回大阪国際音楽コンクール弦楽器部門 Age-U 入選。原田禎夫、ヴァーツラフ・レメシュ、プラジャーク カルテット等のマスタークラス受講。これまでにヴィオラを石黒靖典、兎束俊之、百武由紀の各氏に師事。室内楽を百武由紀、花崎薫、桐山建志の各氏に師事



高橋 弘治 チェロ

桐朋学園大学音楽学部卒業、ブリュッセル王立音楽院古楽器科修了。2001年から07年までシギスヴァルト・クイケン氏率いる「ラ・プティット・バンド」メンバーとして演奏活動を行う。帰国後は日本各地で古楽器と現代楽器、両方を用いて様々な演奏活動を行っている。現在、古楽アンサンブル『ムジカ・レセルヴァータ』メンバー、桐朋学園大学音楽学部附属「子供のための音楽教室」名古屋教室講師。



小林 奏太 チェロ

愛知県立芸術大学器楽専攻、東京藝術大学別科及び大学院修士課程古楽専攻修了。チェロを吉田顕、林良一、安藤信行、新井康之、松波恵子、鈴木秀美の各氏、ヴィオラダガンバを福澤宏氏、室内楽を百武由紀、市坪俊彦、河野文昭の各氏に師事。バロック音楽研究会にて桐山建志、花崎薫の両氏のもと研鑽を積む。また在学中より二度 Norway に渡り、Kristin von der Goltz 氏の指導を受ける。



高橋 慧希 コントラバス

1993年秋田県生まれ。14歳よりコントラバスを始める。愛知県立芸術大学音楽学部を卒業。学内にて中村桃子賞を受賞。2014年度山田貞夫音楽財団奨学生。2016年小澤征爾音楽塾に参加。2017年から1年間ハンブルクに留学。現在、愛知県立芸術大学大学院に在学中。これまでに諏訪部百合、村上満志、渡邊玲雄、M.Rieberの各氏に師事。





鬼澤 悠歌 ヴィオラ・ダ・ガンバ

東海大学大学院芸術学研究科音響芸術専攻修了。志水哲雄、福沢宏各氏に師事。第80回読売新人演奏会に出演。大学院修了時にリサイタルを行う。リチェルカーレ・コンソート、バッハ・コレギウム・ジャパンの録音及び演奏会に参加するなど、様々なアンサンブルでソロおよび通奏低音奏者として活動している。ジョーバン・バロック・アンサンブル、ガンバコンソート Garland メンバー。



倉田 寛 フルート I

東京藝術大学卒業。第11回日本管打楽器 Trb コンクール3位受賞。第2回ナルボンヌ(仏)国際金管五重奏コンクール特別賞受賞。神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席奏者を経て現在、愛知県立芸術大学教授。金城学院大学、洗足学園音楽大学各非常勤講師。リコーダーに於いては1981・83・84年に全日本リコーダーコンテストアンサンブル部門入賞、1988年同コンテストソロ部門に於いて金賞受賞。



長瀬 正典 フルート II

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。静岡大学大学院教育学研究科修士課程修了。リコーダーを中川友彦、矢沢千宜、吉澤実の各氏に師事する他、マスタークラスなどでエリック・ボスグラーフ氏の指導を受ける。東京藝術大学、静岡大学、常葉大学短期大学部、浜松学芸高等学校、各非常勤講師。



尾崎 温子 オーボエ I

東京藝術大学附属高校、同大学を経て、同大学大学院修士課程修了。1996～98年ブリュッセル王立音楽院に留学。バッハ・コレギウム・ジャパン、クラシカルプレイヤーズ東京、松本バッハ祝祭アンサンブル、コントラポント等、古楽器のオーケストラ、アンサンブルに参加。これまでに、前川光世、井口博之、小畑善昭、小島葉子、ポール・ドンブレヒトの各氏に師事。桐朋学園大学非常勤講師。



稲吉 紗香 オーボエ II

桜丘高等学校音楽科卒業。くらしき作陽大学音楽学部音楽学科卒業。卒業演奏会に出演。オーケストラ・アンサンブル金沢、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、日本センチュリー交響楽団、愛知室内オーケストラ等に客演。山本直人、菅付章宏各氏に師事。バロックオーボエを尾崎温子氏に師事。



森 綾香 ターコ

沖縄県立芸術大学音楽学部卒業、桐朋学園大学研究科修了。都内を中心にオーケストラ、室内楽、ミュージカル等に出演。また、バロックオーボエ奏者として「バッハ・コレギウム・ジャパン」の公演・録音・海外ツアー、他様々な室内楽やオーケストラに参加している。オーボエを山本直人、諸岡研史、北島章、オーボエとバロックオーボエを本間正史の各氏に師事。



松野 美樹 トランペット

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。フリー奏者として活躍する中、特にバロック音楽の分野において、ピッコロ / バロックトランペットのソリスト、及び客演第一奏者として高い評価を受ける。トランペットを北村源三、田中昭両氏に師事。バロックトランペットをフリーデマン・インマー氏に師事。大学在学中、卒業後も小林道夫氏より薫陶を受ける。2012年よりドイツにて現地の古楽演奏家と演奏も行う。



江川 智沙穂 チェンバロ

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業、愛知県立芸術大学大学院音楽研究科博士前期課程修了。ルーマニア国際音楽コンクール等受賞多数。ソリスト、アンサンブル奏者として活動している。ピアノを志村朱美、佐野翠、角野裕、永野美佐子、ラルフ・ナットケンパーの各氏に師事。



太田 結梨 オルガン

和歌山県出身。愛知県立芸術大学を経て、現在同大学院2年に在学。第15回熊楠の里音楽コンクールDクラス第1位、第6回日本バッハコンクール大学・大学院部門全国大会金賞、第21回KOBE国際音楽コンクール一般部門優秀賞。これまでにピアノを井瀬かをり、太田友子、熊谷恵美子、内本久美の各氏に師事。チェンバロを安井直子氏に、オルガンを吉田恵氏に師事。



山田 晶子 練習ピアニスト

京都市立堀川高等学校音楽科卒業。愛知県立芸術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。同大学大学院音楽研究科修了。竹内美知子、芝崎美恵、田辺緑、ヘンリエッタ・G・ミルヴィス各氏に師事。コーラス沙羅、瀬戸メサイア合唱団、アーチ・ヴォイス長久手、混声「ふるさと」の伴奏ピアニスト。

西洋音楽の成立と「バロック時代」

西洋音楽は、六～七世紀ころに「グレゴリオ聖歌」という名でまとめられるキリスト教の聖歌を母体として発達してきました。それらの聖歌は伴奏もない単旋律(モノフォニー)のものでした。その後、聖歌の旋律をベースとしながらそれに異なる旋律を加えて複旋律で歌う工夫がされるようになり、しだいにグレゴリオ聖歌とは異なる旋律を中心とする歌や器楽曲が作られ演奏されるようになります。この際、当然、複数の旋律が同時に響く音の様子も調べられ、やがて、対位法や和音などの音楽法則を熟知し、さまざまな形式で巧みに展開する音楽作品を創造する独創的な「作曲家」が多く現れるようになります。

十五、六世紀のルネサンスや宗教改革の時期を経て十七、八世紀になると、西洋音楽は「バロック時代」と呼ばれるひとつの隆盛期に達します。有能な音楽家が数多く輩出し、主に王侯貴族や教会に仕えて、催し事や行事などの必要に応じて大量にオペラや合唱曲・合奏曲などを作曲し演奏しました。

なお、中世からバロック時代にかけて作られた複旋律形式の音楽には、①「独立した複数の旋律」を同時に響かせるポリフォニー(多声音楽)形式のものほかに、②一つの旋律を「主旋律」とし、他のものを「副旋律」として和声的に伴奏させるホモフォニー(単声音楽)形式のものもありますが、圧倒的に優越していたのはポリフォニー(多声音楽)形式のものでした。

しかし、十八世紀も半ば以降になると、ポリフォニー(多声音楽)ではなくホモフォニー(単声音楽)形式のものが主流となり、また、ソナタ・シンフォニーなどの音楽作品が好まれるようになるとともに、西洋音楽は、新興市民階級にも開かれた「古典派」の時代に突入します。

バロック音楽の親和感と違和感

明治の日本には、先ず、モーツァルト、ベートーヴェンなどが活躍した「古典派」以後の西洋音楽が紹介され普及しましたが、そこには、バロック時代までに確立した三和音・拍子・長調/短調の区別などの西洋音楽の基本的規則がしっかりと根づいています。

私たち日本人がバロック時代の音楽も「西洋音楽」の一種だと感じるのには、古典派以後の西洋音楽を構成するそうした基本的音楽規則がそこにもあるとを感じるからでしょう。

しかしまた、バッハ以前の音楽には、日本人が慣れ親しんできた「西洋音楽」とは少し違うものがあると感じる人も多いのではないのでしょうか。それは、バロック時代以前の西洋音楽には、古典派以後ほとんど用いられなくなった複旋律(ポリフォニー)の音楽形式その他、日本人にあまり親しみのない音楽要素が含まれているからなのです。

古楽(early music)とは？

欧米では、1970年前後から、「以前(昔)の音楽=古楽」を、以前用いられていた楽器や演奏形態で再現し鑑賞しようとする試みがなされるようになりました。英語で「early music」と呼び、日本語で「古楽」と訳していますが、これは「古代音楽 ancient music」とは別の概念のものです。また、「古」楽の「古=以前(昔)」をいつのこととするかということに決まりはありません。

バロック時代にはさまざまな楽器が工夫され大量に製造されましたが、一般に音量が小さく、音色やピッチも現代の楽器のように統一したものではありませんでした。当時の音楽家は、こうした複雑な状態にある多様な楽器を巧みに操って演奏していたのです。

たとえば、そうした状況にあったバロック時代の音楽を、当時と同じような音色やピッチを持つ楽器で演奏し、当時の演奏形態で再現したとき、当時の作曲家の作曲意図も分かり、音楽作品への理解も深まることでしょう。この願いが「古楽」再現の原動力になっています。

今回の演奏会でも、バッハとヴィヴァルディの作品を、当時のものと同じような楽器(古楽器)を当時のピッチで使い、演奏も合唱も当時の音色を再現するように努力したいと思います。

歌詞と解説

I J. S. Bach Kantate “Gottes Zeit ist die allerbeste Zeit”

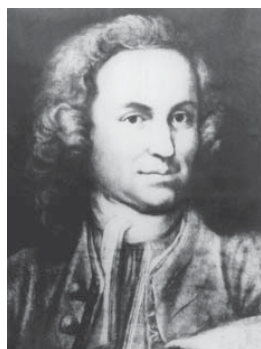
バッハ作曲：カンタータ『神の時は最良の時』、作品番号；BWV106

1. 曲目解説

ヨハン・ゼバスティアン・バッハ (1685 ~ 1750) は、18歳のころから音楽家としての活動を始めましたが、この曲は、彼が22～23歳ころに人に頼まれて作った、教会における葬儀用のカンタータ（＝器楽演奏を伴う歌の組曲）です。作曲経験のまだ浅い青年が作ったとは信じられないような深さと完成度を持つ作品に仕上がっています。葬儀用であるといっても、単に故人を顕彰したり偲んだりするような曲ではなく、人の「死」をどう考えたらよいかという問題に真正面から取り組む内容を持っています。

バッハは、9歳で母を失い、10歳で父とも死別して孤児となっていますので、「死」の問題について考えることの多い少年期を過ごしましたが、先祖代々の正統主義的ルター派の信仰を受け継いで育ちました。マルティン・ルターは、バッハと同郷の偉人で、正しい信仰のあり方を聖書に基づいて徹底的に考えました。人の「死」については、イエス・キリストが自らの「血」によって人の罪を償（つぐな）ってくださったのだから、「死」は（「旧約聖書」が言うような）原罪に対する「罰」という恐ろしいものではなく、その意義を全く変えた信じました。イエス・キリストの到来以後、少なくとも「新約」を信じる人の魂（霊）は、「死後、天国へ行く」はずなのです。「死」は「罰」どころか今や「救い」や「喜び」に転換したのです。

ルターの教えはバッハにも大きな慰めだったことでしょうが、ルターはまた、説教は教義を頭（理性）に説くものだが、音楽は教義を胸（心情）に訴えるものだとして、信仰における音楽の役割を高く評価していました。音楽家としての道を歩み始めたバッハは、ルターのこのことばにも励まされ、使命感に燃えて仕事に励んでいたことでしょう。



この曲目は全四曲から成り、第二曲はやや複雑ですが、ルター的な信仰に向かうべきことが示唆され、第三曲で、死後、天国へ行けることの喜びが、第四曲で神への感謝と賛美が歌われます。

（左の肖像画は、29-30歳の頃のバッハを描いたとされているものです。晩年のバッハを描いた、威厳あふれる肖像画とは違って、初々しい青年バッハの面影を偲ばせてくれます。ただし、別人を描いたものだという説もあります。）

2. 解説と歌詞対訳

第1曲：ソナティーナ

器楽演奏のみの導入部。ヴィオラ・ダ・ガンバに助けられた通奏低音（オルガン）を踏まえ、二本のリコーダーが心静まる曲を奏します。短い、「提示—展開—再現」というソナタ形式ソナを具えています。

**第2曲**：四部合唱、テノール独唱、バス独唱

「死」をめぐる揺れ動く想いを描く曲。次の (a) ~ (d) の四つに分けられます。

(a). 四部合唱：「神の時は最良の時」、「生」も「死」もすべて神の見計らいのうちにあると歌う序曲。

<i>Gottes Zeit ist die allerbeste Zeit.</i>	神の(定めし)時は最良の時。
<i>In ihm leben, weben und sind wir; solange er will.</i>	我らは神の御手 ^{みて} のうち ^に ありて、 生き、動き、存在す、神が望まれる限りで。
<i>In ihm sterben wir zur rechten Zeit, wenn er will.</i>	我らは神の御手 ^{みて} のうち ^に ありて、死すべき時に死す、 神が望まれる時に。

(b) テノール独唱：多くの人は「なぜ死ななければならない」のか迷います。「死」の意味もよく分かりません。「死」の意味が分かるようになりたいと願う気持ちを、テノールが神に向かって歌います。

<i>Ach Herr, lehre uns bedenken, dass wir sterben müssen, auf dass wir klug werden.</i>	ああ、主よ、我らが死なねばならぬことの意味 を納得できるようお導きくださり、我らを賢 くならせ給え。
---	--

(c) バス独唱：バスの声は「上(神など超越者)」からの声(後にイエス・キリストもバスで歌います)。旧約聖書には、死期が近いと知ったら覚悟をして身の回りを整理し、死後に家族が財産相続などで争うことがないよう、きちんと遺言を書いておくように命じています。死の覚悟を訴える曲です。

<i>Bestelle dein Haus; denn du wirst sterben und nicht lebendig bleiben!</i>	家財を整理し(遺言を書い)ておくのだ! お前は 間もなく死に、生きていなくなるのだから。
--	---

(d) 四部合唱：複雑な合唱です。ソプラノを除くアルト・テノール・バスの3パートと、ソプラノ・パートとが、単独で歌ったり、あるいは、競うように別の歌詞やメロディーを重唱的に歌ったりします。

① ソプラノを除く3パートの合唱：古い「旧約」にとらわれている心、あるいはそういう心を持つ人々の声を表す合唱。「旧約」に依れば、人の「死」は原罪に対する罰としての定め。強圧的な古い「旧約」にとらわれ、今なお重苦しい運命として「死」を受け止めている心の想いを表わしています。

<i>Es ist der alte Bund:</i>	これは古くからの契約(定め)：
<i>Mensch, du musst sterben!</i>	人よ、お前は死なねばならぬ。

② ソプラノ・パートのみの合唱：上の①のような「旧約」にとらわれている人々とは違い、イエス・キリスト到来以後の「新約」を信ずる心、あるいはそういう心(信仰)を持ち始めた人々が現れます。その声をソプラノ・パートが代表して、『新約聖書』にあるイエスの再来を願う句を歌います。今や、イエス・キリストの到来以後、「死」は意味を変えたと信ずる人々が現れたのです。



ソプラノ・パートが数小節歌うと、それと重なるように、伴奏部でリコーダーが、コラール(讃美歌)“*Ich hab' mein' Sach Gott heimgestellt*”(我が物を神にお返し奉りぬ)の冒頭7小節のメロディーを演奏します。このコラールは、表題の句につづいて「これからのことは、すべて神にお任せいたします」と続くことから分かるように、死の覚悟を示すコラールで、当時は人々によく知られていました。バッハは、これを伴奏部で響かせることに依って、「新約」を信じ、新たな気持ちで「死」と対面しようと覚悟している人々が現れたことを暗示しているのです。

Ja, komm, Herr Jesu! (何度も繰り返される) どうか、イエス様、おいでください。

③ ソプラノを除く3パートとソプラノ・パートとの重唱：上の①と②のそれぞれの合唱が、それぞれのメロディーを保ったまま、競うように重唱で歌いつづけます。重唱は何度も繰り返され、かなり長い間つづきますが、最後は②のソプラノの声だけが残って第二曲全体が閉じられます。しかし、「新約」を信ずる気持ちにもどこかまだ迷いがあるのか、不安定な不完全終止の形で終わります。

(アルト・テノール・バス)

Es ist der alte Bund: これは古くからの契約(約束)：
Mensch, du musst sterben! 人よ、お前は死なねばならぬ。

(ソプラノ)

Ja, komm, Herr Jesu! どうか、イエス様、おいでください。

教会の式次第においては、以上の複雑な第二曲が終わったところで牧師による説教があったと考えられます。説教では、第2曲でソプラノ・パートが示した新たな信仰の正しさが説かれ、「死」をめぐるルター的な教義の意義が改めて確認されたことと思われまます。次の第三曲は、「死は天国への救い」であるという明白な信仰を前提するものになります。

第3曲：アルト独唱→バス独唱→アルト・パートのみの合唱。

安らかに死にゆくことができる喜びを歌います。イエス・キリストも天国へ歓迎すると歌います。

(アルト独唱)

In deine Hände befehl' ich 汝の御手^{みて}に我は委ねる、
meinen Geist; わが霊を。
Du hast mich erlöset, 汝は我をお救い^{ゆだ}くだされたり、
Herr, du getreuer Gott. 主、汝、信頼する神よ。

(バス独唱。イエスの声。)

Heute wirst du mit mir きょう汝は我とともに
im Paradies sein. 天国にあらん。

(アルト・パートのみの合唱。

死にゆく人の魂(霊)の声)

Mit Fried' und Freud' ich fahr' dahin 心穏やかに、喜びつつ我はこの世を去る、
in Gottes Willen, 神の御心^{みこころ}のままに、
Getrost ist mir mein Herz und Sinn, 我が心は安らか、
sanft und stille. 平穏かつ静かなり。
Wie Gott mir verheißten hat: 神が我に約せしごとく、
Der Tod ist mein Schlaf worden. 死は我が眠りとなりぬ。



第4曲：四部合唱のコラール

アダム・ロイスナー (1496? ~ 1575?) の “*In dich hab’ ich gehoffet, Herr*” (主よ、我は汝に希望を持てり) という詩の第7番の詞節を借用した歌詞に曲付けしたコラールです。

Glorie, Lob, Ehr’ und Herrlichkeit 栄光と賛美、栄誉と威光とが
sei dir, Gott Vater und Sohn bereit, 父とも子とも、また聖霊とも呼ばれる
dem Heil’gen Geist mit Namen! 汝、神にあらんことを!

Die göttlich’ Kraft macht uns sieghaft 神の力が、イエス・キリストを通して、我らが勝利すること
durch Jesum Christum, Amen. 確信せしめ給わらんことを! アーメン!

II Vivaldi “Gloria”

ヴィヴァルディ作曲『グローリア (二長調)』、作品番号 ; RV.589

1. 曲目解説

バッハの前曲は神を賛美して終わりましたが、ここで改めて、ヴァイオリン協奏曲『四季』の作者として知らぬ者のないヴィヴァルディ (アントニオ・ルチーオ・ヴィヴァルディ 1678-1741) の、まばゆいばかりの神賛美の曲『グローリア』をお届けします。

ヴィヴァルディは、バロック時代後期、バッハと同じころに活躍したイタリアの音楽家です。生涯に 500 曲以上の協奏曲、約 46 のオペラのほか、無数のカンタータ、モテット、シンフォニア、ソナタなどを書きました。しかし、その多くは紛失し、現存するのは一割ほどだと言われています。

この『グローリア』は、1920 年代になって手稿が発見され、現代に甦ったものです。バロック音楽の研究者磯山雅氏は、この『グローリア』は、「器楽曲と合わせてさえ、ヴィヴァルディの最大傑作」であると評しています。

(『バロック音楽鑑賞事典』講談社学術文庫、p.136)

カトリックのミサにおいては、「キリエ」、「グローリア」、「クレド」、「サンクトゥス」、「アニュス・デイ」などの通常文が用いられますが、「グローリア」はそのひとつです。ヴィヴァルディは、それを 12 の部分に分け、カンタータ風に組み立てて作曲しました。(なお、今回演奏する編曲版では、第4番目の短い曲 “*Gratias agimus tibi*” と第5番目の曲 “*Propter magnam gloriam*” とをいっしょにして一曲にし、全体が 11 曲から成るように構成されています。)

メロディーがはっきりした、ホモフォニック (単声音楽的) に書かれた部分が多く、フーガなど対位法を駆使するポリフォニック (多声音楽的) な部分が少ない点で、当時としてはバッハよりもむしろ斬新な、「古典派」の作品に近いものに仕上がっています。





2. 歌詞対訳

第1曲 (いと高きところでは、神に栄光あれ)：四部合唱

Gloria in excelsis Deo. いと高きところでは、神に栄光あれ。

第2曲 (地上では善き人々に平和を)：四部合唱

Et in terra pax hominibus bonae voluntatis. そして、地の上では、平和が
善き人々の上にあらんことを！

第3曲 (我ら汝を讃えたてまつる)：二人のソプラノ独唱による二重唱

Laudamus te. 我らは汝を讃えたてまつる。
Benedicimus te. 汝を祝福したてまつる。
Adoramus te. 汝を崇拜したてまつる。
Glorificamus te. 汝を賛美したてまつる。
(間奏後、また何度か繰り返されて後奏へ)

第4曲 (「我らは汝に感謝をささげ奉る」＋「汝の大いなる栄光ゆえに」)：四部合唱

Gratias agimus tibi 我らは汝に感謝を捧げたてまつる、
propter magnam gloriam tuam. 汝の大いなる栄光ゆえに。

第5曲 (主なる神、天の王者よ)：ソプラノ独唱

Domine Deus, 主なる神、
Rex coelestis, 天の王者、
Deus Pater omnipotens. 全能の父である神よ。

第6曲 (独り子である主よ)：四部合唱

Domine Fili unigenite, Jesu Christe. 独り子である主、イエス・キリストよ。





第7曲（主なる神、神の子羊）：アルト独唱と四部合唱

<i>Domine Deus,</i>	主なる神、
<i>Agnus Dei, Filius Patris.</i>	神の子羊、父の御子よ。
<i>Qui tollis peccata,</i>	罪を除き給う方、
<i>Domine Deus, Rex coelestis,</i>	主なる神、天上の王よ、
<i>Qui tollis peccata,</i>	罪を除き給う方、
<i>Domine Filius unigenite,</i>	独り子である主よ、
<i>Qui tollis peccata,</i>	罪を除き給う方、
<i>Domine Deus,</i>	主なる神、
<i>Agnus Dei, Filius Patris.</i>	神の子羊、父の御子よ。
<i>Qui tollis peccata mundi,</i>	世の罪を除き給う方、
<i>miserere,</i>	憐れみ給え、
<i>Agnus Dei,</i>	神の子羊よ、
<i>miserere,</i>	憐れみ給え、
<i>Filius Patris,</i>	父の御子よ、
<i>miserere nobis,</i>	我らを憐れみ給え、
<i>miserere, miserere,</i>	憐れみ給え、憐れみ給え、
<i>miserere nobis,</i>	我らを憐れみ給え、
<i>miserere nobis.</i>	我らを憐れみ給え。

第8曲（世の罪を除かれしお方よ）：四部合唱

<i>Qui tollis peccata mundi,</i>	世の罪を除かれしお方よ、
<i>suscipe deprecationem nostram.</i>	我らが願いを聞き入れ給え。

第9曲（御父の右に座すお方よ）：アルト独唱

<i>Qui sedes ad dexteram Patris,</i>	<small>おんちち</small> 御父の右に座すお方よ、
<i>miserere nobis.</i>	<small>いま</small> 我らを憐れみ給え。

第10曲（汝のみ聖なるが故に）：四部合唱

<i>Quoniam tu solus sanctus</i>	汝のみ聖なるが故に、
<i>Tu solus Dominus,</i>	汝のみ主なり、
<i>Tu solus altissimus,</i>	汝のみ、いと高き者なり、
<i>Jesu Christe.</i>	イエス・キリストよ。

第11曲（聖霊とともに）：四部合唱

<i>Cum Sancto Spiritu</i>	聖霊とともに、
<i>in gloria Dei Patris,</i>	父なる神の栄光のうちにあらんことを、
<i>Amen.</i>	アーメン。



III J. S. Bach Kantate “Wachet auf, ruft uns die Stimme” zum 27. Sonntag nach Trinitatis

バッハ作曲：三位一体節後第 27 日曜日のためのカンタータ

『目覚めよと叫ぶ声あり』、作品番号；BWV140

1. 曲目解説

バッハがすでに円熟の境地に達していた 46 歳の時に作られた教会カンタータ。教会歴の関係で、バッハの生前には、1731 年と 1742 年の二回しか演奏されませんでした。『マタイ伝』にある「十人の乙女たち」の譬え話を踏まえた教訓的なカンタータです。

2. 「十人の乙女たち」の譬え話

古代ユダヤの風習に依れば、結婚に際し、花婿が花嫁の家を訪れて結婚式をあげることになっていました。——さて、十人の花嫁が花婿の到来を待っていました。何があったのか、夜遅くなくても花婿はなかなか来られません。五人の賢い乙女たちは、灯火を絶やさないように油を十分に用意して花婿の到来に備えていましたが、五人の愚かな乙女たちは用意を怠っていました。間もなく花婿が来られるという時になって、愚かな乙女たちの油が切れてしまいます。あわてて油を買いに外へ出かけて行っている間に花婿は到着。愚かな乙女たちが戻った時にはすでに門は閉ざされ、結婚式が始まっていました。こうして五人の愚かな乙女たちは結婚することができなくなってしまったのです。

キリスト教では、信者の「魂」を花嫁にし、「イエス・キリスト」を花婿にして、イエス・キリストへの正しい信仰を持つことを両者が「結婚」するということで譬えることがよく行われています。「十人の乙女たち」の譬えは、イエス・キリストの再来、つまり、最後の審判の日の到来に備えて、常日頃から抜かりなく正しい信仰を持ち続けることが大切であると論しているのです。

3. 曲の構成

フィリップ・ニコライ (1556-1608) が上の譬え話を基に作詞・作曲したコラールがあり、当時、人々によく知られていました。バッハは、そのコラールの歌詞とメロディーを第 1 曲・第 4 曲・第 7 曲に用い、曲間に、聖書の詩句などをちりばめた歌詞を用いた曲を挿入して全 7 曲からなるカンタータに仕上げました。(ニコライのもの以外の歌詞は、作者が分かっていません。)

4. 各曲の概要・曲想説明と歌詞対訳

以下の各曲概要に加えた曲想説明は、磯山雅氏の解説に基づいています。

第 1 曲 コラール：前奏ののち四部合唱

シオン (=エルサレム) の町を取り囲む城壁の望楼に立つ見張り番たちが、「目覚めよ、花婿が来られるぞ」と花婿の到来を待つ花嫁たちに向かって叫びます。冒頭の、弦とオーボエが付点リズムを奏し合う有名な楽節は、花嫁の待つ町へと来られる花婿 (イエス・キリスト) の足取りを感じさせます。ニコライ作曲のコラールのメロディーがソプラノに置かれ、下の 3 声部がそれに対位的な彩りを添えます。鋭く、変化に富み、中でも、第 9 行目の「ハレルヤ」を導入するフーガは鮮やかな印象を与えます。

(前奏)

*Wachet auf, ruft uns die Stimme
der Wächter sehr hoch auf der Zinne,
wach' auf, du Stadt Jerusalem!*

(間奏)

*Mitternacht heißt diese Stunde;
sie rufen uns mit hellem Munde:
wo seid ihr klugen Jungfrauen,
wo?*

(間奏)

*Wohl auf, der Bräut'gam kömmt;
steht auf, die Lampen nehmt!
Alleluja, alleluja!
Macht euch bereit zu der Hochzeit,
ihr müsset ihm entgegengeh'n!*

(後奏)

第2曲 レチタティーヴォ：テノール独唱

テノール独唱で、旧約聖書の雅歌をふまえ、花婿イエスが「カモシカのように丘を躍り跳ねながら」やって来られると、印象的に歌います。

<i>Er kommt, er kommt, der Bräut'gam kommt! Ihr Töchter Zions, kommt heraus, sein Ausgang eilet aus der Höhe in euer Mutter Haus. Der Bräut'gam kommt, der einem Rehe und jungen Hirsche gleich auf denen Hügeln springt und euch das Mahl der Hochzeit bringt. Wacht auf, ermuntert euch, den Bräut'gam zu empfangen! Dort, sehet, kommt er hergegangen.</i>	来られるぞ、来られるぞ、 花婿が来られるぞ！ お前たち、シオン（＝エルサレム）の娘たちよ、外に出よ、 （花婿が天の）高みより急ぎ出てこられ、 お前たちの母の家へと急がれるぞ。 花婿が来られる、カモシカのように、 また、若鹿のように 丘の上を躍り跳ねながら。 そして、お前たちに婚礼の食事を運んで来られる。 目を覚まし、眠気をはらって、 花婿をお迎えせよ！ 見よ、そこを花婿がこちらへ来られるぞ。
---	--

第3曲：ソプラノ独唱とバス独唱、および、ソプラノとバスの二重唱アリア

花嫁（＝ソプラノで歌う信者の魂）と花婿（＝バスで歌うイエス・キリスト）が歌う独唱と愛の二重唱です。イエスの到来を待ち焦がれる花嫁と「今行くよ」と言うイエスとの対話が演じられます。

バッハ好みの短6度上行音型（＝叫びの音型）が、悩みの淵からイエスの到来を待ち憧れる信者の魂の情感を反映しているように思われます。それに続くヴァイオリンのこまかな音型は、灯火の燃え上がるさまを表していると解釈する人もいます。

S = ソプラノ（花嫁＝信者の魂） B = バス（イエス・キリスト）

(前奏)

<i>S: Wenn kömmt du, mein Heil?</i>	S: 私の救いであるあなたは、いつ来られるのですか？
<i>B: Ich komme, dein Teil.</i>	B: 今行くよ、お前の分身である私が。
<i>S: Ich warte mit brennendem Öle.</i>	S: 私は、ともし火を手にして、お待ちしております。



(間奏)

B: Ich öffne den Saal, B: 広間の扉を開けるよ。
S: Eröffne den Saal, S: 広間の扉をお開け下さい。
S&B: zum himmlischen Mahl. S&B: 天国での宴の席に着くために。
S: Komm, Jesu! S: さあ、おいでください、イエス様！
B: Ich komme; komm, liebliche Seele! B: 今行くとも。さあおいで、愛すべき(私の花嫁である)魂よ!

(間奏)

繰り返し

(後奏)

第4曲 コラール：テノール・パートのみの合唱

テノール・パートがのびやかに歌う、よく知られた曲。花嫁であるイエスを迎え、共に婚礼の宴の席につける喜びを歌います。ヴァイオリンとヴィオラのユニゾンによるオブリガート声部は、晴れやかさと落ち着きを兼ね備えて美しいです。

(前奏)

Zion hört die Wächter singen, シオン(=エルサレム)の人々は、見張り番らの
das Herz tut ihr vor Freuden springen, 歌声を耳にし、花嫁の胸は喜びに高鳴り、
sie wachet und steht eilend auf. 目覚めるとすぐさま急ぎ起き上がる。

(間奏)

Ihr Freund kommt vom Himmel prächtig, 花嫁の友(=イエス)が天から降りて来られる、
von Gnaden stark, その姿は輝き、慈愛にあふれ、真実なるが故に力強く。
von Wahrheit mächtig, 花嫁が手に持つ灯りは輝きをまし、
ihr Licht wird hell, ihr Stern geht auf. 花嫁の(幸運の)星が天にのぼる。

Nun komm, du werthe Kron', さあ、来られよ、汝、貴き冠を戴ける帝王よ！
Herr Jesu, Gottes Sohn! 神のみ子である主イエスよ！
Hosianna! ホサナ！
Wir folgen all zum Freudensaal 私たちは皆、喜びの宴の間へ行き、
und halten mit das Abendmahl. ごいっしょに晩餐の席に着きます。

(後奏)

第5曲 レチタティーヴォ：バス独唱

花嫁に見立てられたイエスのバス独唱。花嫁をその腕に深く抱き、現世の苦悩をすべて忘れさせてあげようと歌います。味わい深い、弦伴奏付きレチタティーヴォ。

So geh herein zu mir, さあ、こちらへ入っておいで、私のほうへ、
du mir erwählte Braut! お前、私のために選ばれた花嫁よ！
Ich habe mich mit dir von Ewigkeit vertraut. 私はお前と永遠の契りを結んだのだから。
Dich will ich auf mein Herz お前を胸や腕に抱きしめてあげたい、
auf meinen Arm gleich wie ein Siegel setzen まるで印章を押す時みたいにギュッと。
und dein betrübt Aug' ergötzen. そして、悲しげな眼をしたお前を喜ばせてあげたい。
Vergiss, o Seele, nun die Angst, ああ、魂(=花嫁)よ、忘れなさい、今は不安も
den Schmerz, 苦しみも。
den du erdulden müssen; きっとお前は苦しんできたことだろうね。
auf meiner Linken sollst du ruh'n, 私の左側にお休みなさい、
und meine Rechte soll dich küssen. 右手でお前を愛撫してあげたいから。



第6曲：ソプラノとバスとの二重唱アリア

花婿であるイエス (=バス) と花嫁である信者の魂 (=ソプラノ) とが、結婚して天国で暮らせるようになったことの喜びを歌います。明るく浮き立つオーボエに先導されてソプラノとバスの掛け合いが始まりますが、「愛は何物をも引き裂くことなし」のくだりの甘美な3度進行は、ふたりのきずなの堅さを表しているようです。

S = Soprano(花嫁=信者の魂) B = Basso(イエス・キリスト)

(前奏)

S: *Mein Freund ist mein,*

S: 私の友(イエス)は(今や)私のもの、

B: *Und ich bin sein,*

B: そして、私は花嫁のもの。

S&B: *die Liebe soll nichts scheiden.*

S&B: 愛は何物をも引き裂くことなし。

(間奏)

S: *Ich will mit dir*

S: 私はあなたとともに

B: *Du sollst mit mir*

B: お前は私とともに

S&B: *in Himmels Rosen weiden,*

S&B: 天国のバラを楽しもう、

da Freude die Fülle,

バラ園は喜びにあふれ、

da Wonne wird sein.

至福に満ちているだろう。

第7曲 コラール：四部合唱

神を讃えて全曲を閉じます。フィリップ・ニコライ作曲のコラールを変ホ長調にして編曲した四部合唱で、バス・パートで、大らかに動く和声が豊かに流れて美しく、全体を印象深くしめくくっています。

*Gloria sei dir gesungen
mit Menschen und englischen
Zungen,
mit Harfen und mit Zimbeln schon.*

「栄光あれ」と汝(神)に向かって
歌われんことを！
人も天使も声合わせて、
ハープやシンバルを奏でながら。

*Von zwölf Perlen sind die Pforten,
an deiner Stadt sind wir Konsorten
der Engel hoch um deinen Thron.*

門には12の真珠が鑲(ちりば)められ、
汝の町(=天国)にて我らは、天使らとともに
高きにありて、汝の玉座を取り囲む。

*Kein Aug' hat je gespürt,
kein Ohr hat je gehört
solche Freude.
Des sind wir froh,
io, io!
ewig in dulci júbilo.*

かつて何人も見しことなし、
何人も聞きしことなし、
我らが天国で味わえる如きこの喜びを。
喜びに我らは歓喜の声をあげる、
イオー、イオーと！
この心地よき喜びよ、永遠に！

(注)

(1) 歌詞のドイツ語表記：ドイツ語歌詞をテキスト表示するにあたり、現代ドイツ語の不正書法(1996年、2006年改訂)に基づく表記に統一しました。アクセントのない「e」音や「i」音などが脱落し発音されないことがあります。この場合、「e」字や「i」字などを省略する(書かない)ことも多いですが、ここでは、省略のある個所に「」記号を記して省略があることを明示し、元の語形が分かるようにしておく表記法を採用しました。母音の脱落があると、後ろに来る子音の発音に影響することもあります。

befehle[bəfɛ:lə] → befehl'[bəfɛ:l](befehl とは記さず), Krone[kró:nə] → Kron'[kro:n](Kron とは記さず),

ruhen → ruh'n (ruhn とは記さず), ☆(i音脱落例) Heiligen → Heil'gen (Heilgen とは記さず),

(子音変化) Friede[fri:də] → Fried'[frit](Fried とは記さず), Auge[áugə] → Aug'[áuk](Aug とは記さず)。

(2) 訳詞について：ミサ通常文も含め、英訳を含む諸訳を参考にして、なるべく意味が明快に伝わるような訳詞にしてみました。

(瀬戸メサイア合唱団 市崎謙作)

●オーケストラ 瀬戸ロイヤルバロックアンサンブル

コンサートマスター桐山建志が前回のメサイア初演版演奏会に引き続き、古楽器に精通するヴィルトーゾ達を招聘。合唱団の「バロックの響きを」という試みを出色の響きで協演、サポートする。

●合唱 瀬戸メサイア合唱団

1990年3月設立。2001年、創立10周年記念、2010年創立20周年記念、2016年創立25周年記念「メサイア」全曲演奏会を開催。2000年、2003年、2007年にドイツ親善演奏旅行を実施、ザクセン州各地の教会、音楽祭で演奏。2001年、2005年、2006年、2010年に、ドイツの3都市より合唱団、吹奏楽団、オーケストラ等が来日の際にも彼らと共に共演。2003年モーツァルト「レクイエム」、2006年ブラームス「ドイツ・レクイエム」、2014年バッハ「ミサ曲短調」公演。チャリティコンサートにも力を注ぎ、皆様からお寄せ頂いた募金は瀬戸市社会福祉協議会と、中日新聞社を通して、自然災害の被災地に寄付させて頂いている。2005年、これまでの活動に対し瀬戸市文化協会より「つばき賞」を受賞。2010年、パチンコ大衆文化・福祉応援賞受賞。2013年、愛銀教育文化財団助成受賞。

ソプラノ

青山 伸子	磯村美有紀	市野美佐子	伊藤 恵倫	◎伊藤 節子	◎加藤 妙子
河部 妙子	◎國松富美子	黒岩日出子	五味 典子	◎佐藤 和子	佐藤 博子
◎柴田富貴子	◎柴山こずえ	塚本登土枝	林 ひとみ	水谷 久江	山下 成子
山田 晶子					

アルト

伊藤美谷子	伊藤 康子	◎梶田多起子	◎加藤 信子	加藤 久子	佐藤久美子
佐野 陽子	諏訪ちか子	瀬尾 栄子	高岡美千代	◎中山 秋子	◎馬場 庸子
久田千枝子	細田 美紀	松村七雅子	◎水野 恵子		

テノール

市崎 謙作	市原 正樹	伊藤 洋二	◎井上 節夫	◎岩波 健夫	合瀬 弘正
大久保 亮	新實一喜智	松尾 亘高			

ベース

近田 和彦	◎長江 政則	能勢 健司	平野 好道	水谷 克行	水野 賢治
山腰 浩一	◎山田 聡				

◎スタッフ



古楽による「メサイア」全曲演奏会 2016年4月24日

瀬戸メサイア合唱団の歩み

1990. 3. 8	合唱団創立	
1990. 7. 7	◎第1回「メサイア」演奏会	瀬戸市文化センター
1991. 6. 29	◎第2回「メサイア」演奏会	瀬戸市文化センター
1992. 6. 28	◎第3回「メサイア」演奏会	瀬戸市文化センター
1994. 7. 17	◎第4回「メサイア」演奏会	瀬戸市文化センター
1995. 6. 25	◎第5回「メサイア」演奏会	瀬戸市文化センター
1996. 7. 14	◎第6回「メサイア」演奏会	瀬戸市文化センター
1997. 12. 14	◎第7回「メサイア」演奏会	瀬戸市文化センター
1998. 12. 23	第1回クリスマス・チャリティーコンサート	瀬戸信用金庫エンゼルホール
1999. 12. 13	第2回クリスマス・チャリティーコンサート	瀬戸信用金庫エンゼルホール
2000. 7. 20 ~ 31	ドイツ親善演奏旅行（ハノーバー万博）	ドイツ・ハノーバー他
2000. 12. 24	第3回クリスマス・チャリティーコンサート	瀬戸信用金庫エンゼルホール
2001. 4. 29	◎創立10周年記念「メサイア」全曲演奏会	瀬戸市文化センター
2001. 10. 13	ドイツ合唱団・国際交流・交歓パーティー	瀬戸市民会館・サンプラザ
2001. 12. 6	第4回クリスマス・チャリティーコンサート	瀬戸信用金庫エンゼルホール
2002. 10. 27	ハーモニー白馬ジョイントコンサート出演	白馬村ウイング21ホール
2002. 12. 15	第5回クリスマス・チャリティーコンサート	瀬戸信用金庫エンゼルホール
2003. 4. 13	モーツァルト「レクイエム」演奏会	長久手町文化の家森のホール
2003. 11. 6	第6回チャリティーコンサート	瀬戸信用金庫エンゼルホール
2003. 12. 5	ドイツ・オーバーヴィーゼンタル合同演奏会	ドイツ・ザクセン州
2003. 12. 7	ドイツ・ケムニッツ「メサイア」合同演奏会	ドイツ・ザクセン州
2004. 11. 28	第7回チャリティーコンサート	瀬戸信用金庫エンゼルホール
2005. 3. 27	◎創立15周年記念・万博「メサイア」演奏会	瀬戸市文化センター
2005. 5. 20	瀬戸市文化協会「つばき賞」受賞	
2005. 8. 8	ドイツ・オーバーヴィーゼンタル交流演奏会	瀬戸蔵・つばきホール
2005. 9. 23	ドレスデン吹奏楽団万博演奏会友情出演	愛知万博会場
2006. 3. 21	ブラームス「ドイツ・レクイエム」演奏会 (ドレスデン聖母教会室内合唱団賛助出演)	瀬戸市文化センター
2006. 12. 17	第8回クリスマス・チャリティーコンサート	瀬戸蔵・つばきホール
2007. 11. 3	ドレスデン吹奏楽団40周年記念演奏会賛助出演	ドイツ・ザクセン州
2007. 12. 8	まちの音楽会 コーラスグループ「サーカス」と共演	瀬戸市文化センター
2007. 12. 24	第9回クリスマス・チャリティーコンサート	瀬戸蔵・つばきホール
2008. 12. 21	第10回クリスマス・チャリティーコンサート	瀬戸市文化センター
2009. 11. 3	第11回チャリティーコンサート	瀬戸市文化センター
2010. 3. 7	◎創立20周年記念「メサイア」全曲演奏会 (ドレスデン室内弦楽楽団賛助出演)	瀬戸市文化センター
2010. 5. 25	パチンコ大衆文化・福祉応援賞受賞	
2010. 12. 19	第12回クリスマス・チャリティーコンサート	瀬戸市文化センター
2011. 11. 23	第13回チャリティーコンサート	瀬戸市文化センター
2012. 3. 11	東日本大震災被災者のための「レクイエム」(G. シュバルツェ)演奏会	瀬戸・永泉教会
2012. 12. 9	第14回クリスマス・チャリティーコンサート	瀬戸市文化センター
2013. 10. 3	愛銀教育文化財団助成受賞	
2014. 4. 27	陶祖800年記念 バッハ「ミサ曲口短調」演奏会	瀬戸市文化センター
2014. 12. 7	第15回チャリティーコンサート	瀬戸市文化センター
2016. 4. 24	◎創立25周年記念「メサイア」全曲演奏会(古楽による初演版)	瀬戸市文化センター
2017. 8. 20	第28回白馬夏の終わりコンサート出演	白馬ウイング21ホール
2017. 10. 8	第16回チャリティーコンサート	瀬戸市文化センター



春暁陶器株式会社

強化磁器食器・耐熱陶器

〒480-1207 愛知県瀬戸市品野町1丁目94番地
TEL 0561-42-0101 / FAX 0561-41-1235

豊かな心・楽しい住い・不動産のことなら

瀬戸市役所前 愛知県知事(15)第2872号

塚本不動産有限公司

瀬戸市共栄通1丁目6番地 TEL 0561-82-8144

明るいニューオフィス・楽しいリズム・・・

株式会社 波多野耕文堂

〒489-0805 瀬戸市陶原町6丁目13番地

(瀬戸市役所前) TEL 0561-82-1177

FAX 0561-82-1190

花キューピット加盟店

フラワーショップ ハナデン

瀬戸市菱野台3-50

菱野団地 萩山商店街

TEL 0561-83-5587 FAX 0561-21-1187

「地域とともに」
～いつでもあなたのパートナー～



当金庫や地域の情報をお伝えします



瀬戸信用金庫

理事長 水野和郎

<http://www.setoshin.co.jp>

瀬戸市東横山町119番地の1 / 電話(0561)82-3141

ありがとう素晴らしき冷え取り健康美容

(株)高陽社 代理店

〒489-0005 瀬戸市中水野町2-281

井上美知子

電話 0561-48-0850 FAX 0561-48-0850

新鮮市場いせや

瀬戸市菱野台2-38

TEL 0561-21-3202 FAX 0561-85-3202

菱野商店街 食材・弁当配達受けたまわります





貴金属・ブランド品・切手・記念硬貨・古銭等 高価買取いたします



おたからや
長久手城店



おたからや長久手城店 検索 nagakute@otakaraya.jp

〒480-1122 愛知県長久手市城屋敷2513-102

アピタ長久手店北400m・リニモ秋ヶ池公園駅から徒歩10分・駐車場有

通話無料

0120-707-004

古物商 愛知県公安委員会許可 第542531702800号

所員弁護士 31 名の得意と世代を繋ぐ弁護士クラスター

加藤 洪太郎

(弁護士)

名古屋第一法律事務所

〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-18-22 三博ビル TEL 052-211-2236 FAX 052-211-2237

中国代表処 大連市中山区長江路280号(友好街5号)大連中心・裕景5号棟ST2ビル804号室

自宅 瀬戸市西蔵所町16番地 西蔵カトービル

ロータスみずしま

合資会社 **瀬戸みずしま商会**

〒486-0892 瀬戸市上ノ切町9番地

電話 0561-82-3634 FAX 0561-83-0014

新車・中古車・車検・点検・板金・保険

柴田幸正法律事務所

弁護士 **柴田幸正**



〈名鉄瀬戸線〉尾張瀬戸駅すぐ

土日・祝日・夜間のご相談も可能です。

〔初回相談(30分程度)は無料〕

瀬戸市西蔵所町16番地西蔵カトービル3階

TEL 0561-89-7771

<http://www.shibatayukimasa-law.com>

弁護士 **平野好道**

〒460-0003 名古屋市中区錦1-20-25

広小路YMDビル7F 草野法律事務所

電話 052-203-5305

FAX 052-203-8118

演奏会のご成功
おめでとうございます。

石原 昭二

NARITA
株式
会社 **成田製陶所**

代表取締役 **成田一成**

瀬戸市道泉町70番地 TEL <0561>82-5959

日本基督教団 **瀬戸永泉教会**

1888年10月20日創立

〒488-0822 瀬戸市杉塚町5

TEL/FAX 0561-82-2314

牧師 **高岡 清**

小林実央



医療法人 宏和会



施設見学・「おためし」デイサービス(無料)を実施しています。

お気軽にご相談ください。

〒480-1216 瀬戸市鳥原町167-3(岩屋堂入口)

TEL(0561) 41-3885

〔介護でお困りの方は、ご相談下さい。
居宅介護支援事業所も併設しています。〕

NGU 名古屋学院大学

瀬戸キャンパス 瀬戸市上品野町1350

スポーツ健康学部/リハビリテーション学部

名古屋キャンパス 名古屋市熱田区熱田西町1番25号

経済学部/現代社会学部/商学部/法学部/

外国語学部/国際文化学部



<p>hair&beauty  みち美容室</p> <p>〒489-0918 瀬戸市北脇町251 カサミヤビル1F Phone 0561-82-3738 Fax 0561-82-3738 営業時間: AM9:00~PM7:00 火・木曜日 PM1:00~PM9:00 定休日 毎週月曜日 第2・第3火曜日 URL http://www.michi-bs.jp/ e-mail michibs@gctv.ne.jp</p>	 <p>発泡スチロール成型加工 大草化学株式会社</p>
 <p>車のなんでも屋 林板金</p> <p>瀬戸市文化センター北隣 TEL 0561-21-1006</p>	<p>愛知県瀬戸市南山町1丁目53番地</p> <p>医療法人 青山病院</p> <p>理事長 青山弘彦</p>
<p>瀬戸勿田郵便局</p> <p>〒489-0034 瀬戸市勿田町18番地 電話 0561-82-6992</p>	<p>∴ 安全・安心・親切な給油所 コスモ石油 瀬戸品野SS</p> <p>(有)塚本産業</p> <p>瀬戸市品野町1-205 (消防東分署そば) TEL 0561-41-0885</p>
<p>小澤会計事務所</p> <p>税理士 小澤 修 税理士 小澤 慎太郎</p> <p>瀬戸市共栄通5丁目2番地 TEL 0561-84-5020</p>	<p>ご協賛</p> <p>伊藤康子 伊藤陽介 加藤洋太郎 柴田政勝</p>
<p>和の美 あつみ</p> <p>〒489-0044 瀬戸市栄町14番地 TEL 0561-97-0018 Fax 0561-97-0020 Eメール atsumi@gctv.ne.jp</p> <p>着物クリーニング 安心 親切</p> <p>着物(袴、単衣) 3,300円 振袖、留袖(比翼付) 4,000円 長襦袢(袴、単衣)、帯(袋、なごや) 2,800円</p>	<p>瀬戸メサイアを愛する一市民 山本修之 茅ヶ崎方式英語会可児桜ヶ丘校</p>

合唱団員募集

練習日 毎週木曜日 PM 6:45 ~ 9:00

練習会場 瀬戸市原山公民館 ほか

団費 月 3,000 円

合唱指導者 高岡 美千代、加藤 久子

お問合せ 梶田 (0561) 82-2950

<http://seto-messiah.mychorus.com>